令和8年11月4日

伊勢原浄水場沈でん池設備整備事業　技術対話結果

技術対話について、対話を実施した入札参加者との対話内容のうち、全ての入札参加者に公開すべきと判断した対話結果を次のとおり公表する。

No.	対話を希望する事項	文章名	頁	内容 （応募者記載欄）	回答 （発注者回答欄）
1	保守点検及び池内清掃の最適化	落札者決定基準	6	「濃縮排泥の向上の具体的な提案」について、具体的に求めている事項を確認させてください。 （例：排泥池に流入する汚泥濃度の改善や引抜き頻度の低減等）	貴社の考える沈でん池からの排泥濃度を向上させる取り組みを提案してください。追加改造に限らず、点検方法や運用方法を含む提案も評価対象になります。
2	標準的な修繕費用	落札者決定基準	6	「標準的な修繕費用」と「応札額」の乖離が大きくなった場合、或いはその差が限りなく小さくなった場合について、貴企業団のお考えをお聞かせください。合理的な説明が付けば、標準的な修繕費用と応札額の幅は評価に影響しないという理解で良いでしょうか。 様式Ⅳ-7-3-3-③補足資料は「技術提案と共に出される修繕費用」として、入札額ではなく標準的な修繕費用を記載すると理解していますが、入札額についてはこの様式での作成は不要でしょうか。	標準的な修繕費用と応札額の乖離について、合理的な説明があれば、評価には影響しないと考えています。 乖離が大きい場合、小さい場合ともに、事業者ににとってメリット、デメリットがあると思われますので貴社の考えをご提案ください。 様式Ⅳ-7-3-3-③補足資料には、入札額として提示する修繕費用ではなく、標準的な修繕費用を記載してください。
3	標準的な修繕費用	落札者決定基準	6	「標準的な修繕費用」の標準とは、不特定多数の業者が実現可能な一般的な標準のことをいうのでしょうか。それとも提案事業者のノウハウ等を踏まえて（合理的に）説明可能なものとして設定した標準でしょうか。 標準的な修繕費用は、入札上限価格の修繕費用を必ずしも上回る必要はなく、場合によっては下回る提案もあり得ると考えてよろしいでしょうか。	標準的な修繕費用は、事業者のノウハウや実績等を踏まえて設定してください。 標準的な修繕費用が入札上限価格の修繕費用を下回る提案もあり得ると考えています。
4	沈でん池の施工時の池内清掃後の排水	要求水準書	20	施工による池の運用停止時に池内清掃を実施した際の排水処理については、維持管理時と同様に場内の排泥池等に排水可能でしょうか。	施工前（機器撤去前）に行う池内清掃は、排泥弁から排泥池へ送泥可能です。更新後の充水前に行う池内清掃は、コンクリート殻や小部品が排水に含まれる恐れがあるため、事業者で産廃処理するなど適切に処分してください。
5	汚泥掻寄機に関する条件	要求水準書	22	「沈でん池内の汚泥の堆積を減らし、池内の清掃や水抜き作業の軽減が図られる機器」については、現状よりも改善される提案を求めると理解しております。 汚泥の堆積は、掻き寄せ範囲の拡大と掻き寄せ頻度の改善による機能向上によって、池内の清掃や水抜き作業の軽減はこの機能向上によって実現できると考えてよろしいでしょうか。	具体的な方法、それによる効果を示してもらったうえで判断します。
6	汚泥掻寄機に関する条件	要求水準書	22	「沈でん池の端部に汚泥が堆積するため、端部までの汚泥を排除できる機器」について、具体的にどの部分に堆積しているかご教示ください。 なお、阻流壁の上の汚泥の堆積については清掃時に排除するという理解でよいでしょうか。	沈でん池の端部に汚泥が堆積する部分は次のとおりです。 ①汚泥掻寄機が折り返す地点と壁との間 ②汚泥掻寄機の側面にある躯体が傾斜している部分と汚泥掻寄機の間 阻流壁の上部の汚泥についてはご理解のとおりです。
7	試運転時の諸費用	要求水準書	26	試運転時における諸費用について、原水や電気以外の薬品・排泥などに関わる費用についても事業者に負担を求めないと理解してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
8	浮上リスク対策	要求水準書	26	「沈でん池等を空池にする際は、地下水等による沈でん池の浮上リスク」について、現状の清掃時において、どのような対策をしているのかご教示お願いします。	現状は物理的な対策等は行っていません。 大雨の際における事業者の体制等をご提案ください。
9	緊急時の対応	要求水準書	30 ～32	「（災害時を含む）緊急時の対応」については、貴企業団からの連絡を待たず、事業者側からの自主的な対応を求めるものではなく、貴企業団からの連絡を受けて、貴企業団の初期対応の支援を実施するという理解でよろしいでしょうか。	事業者が不在時に発生した機器故障時は、企業団の連絡により、対応を求めますが、機器故障を除く災害等においては、事業者の自主的な対応を求めます。

No.	対話を希望する事項	文章名	頁	内容 （応募者記載欄）	回答 （発注者回答欄）
10	緊急時の対応	要求水準書	30 ～32	前質問回答の災害時の自主的な対応とは、運転管理業務委託のような常に人員を配置して災害に備えた体制を求めているのではなく、災害発生後に企業団の連絡を待たずに能動的にアクションを起こすことができる対応と理解してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
11	状態監視保全の具体例	要求水準書	36	DX・AI/データ活用によって、効果を発揮している、又は効果が期待できる状態監視保全の具体例はありますか。	企業団では検討課題となっているため、事業者の実績等を踏まえて提案してください。
12	状態監視保全の具体例	要求水準書	36	前質問回答の「検討課題」について、検討の前段階と受け止められますが、検討に進めない障壁のようなものがあればご教示お願いします。	データは積み上がっていますが、それを使った分析（例えば劣化傾向の分析等）が未だできていないことから、DX・AI活用については検討課題としています。
13	既設設備の荷重について	閲覧資料番号1,2		提案する新設設備の荷重と既設設備の荷重を比較し、既設構造物への影響の有無を判断する必要があります。しかし、既設設備の荷重は、閲覧資料から全て把握することが困難であるため、「251016_見積条件まとめ（3浄水場）.xlsx」のシート「①機器仕様整理」（見積依頼資料として提供を受けたもの）を正式な資料として使用してもよろしいでしょうか。また、貴企業団としては、閲覧資料の中に既設設備の荷重に関する情報があるという認識でしょうか。） なお、提案段階で新設設備の荷重と既設設備の荷重を比較結果や、既設構造物への影響の有無の判断を示す必要はありますでしょうか。	企業団のホームページに公表している公告資料、第４回までの閲覧資料を基に検討してください。 左記質問に記載のある見積条件の資料は参考資料として扱ってください。 閲覧資料等をもとに、既設設備と更新後の設備の重量を比較し、重量が増加する場合は、その影響を含めて検討し、技術提案で提示してください。

（注1）入札公告資料にされている内容、応募者のノウハウ及び機密情報に関する内容は削除または表現を変更している。

（注2）公表した対話結果は、入札公告に係る質問回答の一部として扱う。

（注3）技術対話の実施内容は、審査に反映しない。